

# 条件を生かして 産業振興施策

今後の市政運営において生じる行政需要、課題に際して、中、長期的な展望に立つて、昭和六十三年度から六十五年度までの三カ年計画として策定した実施計画を紹介いたします。三回目の今回は、市発展のための大きな要素となる産業を取り上げた「活力ある産業都市づくり」を紹介します。

## 活力ある 産業都市づくり

「架橋」の建設時代の到来は、近年における技術革新・情報化・高齢化・国際化と言われる時代にあって、中央経済圏との人、物、文化の交流が一段と活発になり、本市を取り巻く環境を大きく変化させることが予想されます。こうした状況に対応して、恵まれた立地条件を生かした産業の発展を図り、活力のある産業都市づくりに取り組みたいと思います。

### ■農業

農業を基幹産業として位置づけ、農政の目標を、本市の立地条件を生かした生産性の高い農業の確立と、農家所得の増大に置き、土地基盤整備の促進、計画生産及び出荷体系の確立、臨空型農業への体制づくりなど、総合的な施策の展開を図っていきます。

県下随一の穀倉地帯と言われる本市農地のなかにも、農道や水路の整備等の後れによる生産性の低い農地があり、生産性の高い、安定した農業経営を目指すため、県営土地改良事業及び団体営土地改良事業を積極的に導入し、効率的な農業土地基盤の整備を行います。農道については、本市西南地区（千市、船志）の基幹農道の整備を進めます。団体営土地改良事業については、より効率的な整備を促進していくため、単年度の集中投資、集中改良による一地区集中の整備事業形態をとり、農道整備を進めます。また、土地改良総合整備事業として、圃場整備の必要性からモデル的整備として、三和南部地区の圃場整備（二〇〇）を展開を図っていきます。

産業別人口の推移

| 区分<br>年度 | 総 数                 | 第1次産業              |       | 第2次産業              |       | 第3次産業              |       |
|----------|---------------------|--------------------|-------|--------------------|-------|--------------------|-------|
|          |                     | 人                  | 構成比   | 人                  | 構成比   | 人                  | 構成比   |
| 50       | 22,307 <sup>人</sup> | 6,393 <sup>人</sup> | 28.7% | 6,161 <sup>人</sup> | 27.6% | 9,716 <sup>人</sup> | 43.6% |
| 55       | 23,123              | 5,792              | 25.0  | 5,956              | 25.8  | 11,350             | 49.1  |
| 60       | 23,337              | 5,359              | 22.9  | 5,457              | 23.4  | 12,502             | 53.6  |

行い生産性向上による農家所得の向上を図ります。あわせて、終末排水路である県管理河川の後川、錦野川の早期改修を関係機関に働きかけます。十市東沢地区の圃場整備については、農道沿道の進捗により整備を促進します。

川排水施設の整備は、下末松地区（三四）において、水田農業確立排水対策特別事業を実施し、

地下水位を低下し、耕地の汎用化及び畑作物へ転換を図ります。

機械施設の共同化、組織化が望まれている現状から、有効な機械施設の導入を図り、農業経営の安定を目指します。

土地の有効利用としては、農地の利用権設定を促進し、農地の流動化による経営規模の拡大や、農地の貸し手借り手の掘り起こし、遊休農地の解消、活用に努めるなど、関係農業者との連携のもとに農用地利用増進の推進を図ります。

水田農業確立対策においては、転作等目標面積の割り当てが、本市農業の現況からすれば過大な面積であり、休耕地の取り扱いに厳しい状況にあるが、これの達成に努め、適地適作の奨励、条件整備、流通体制、価格安定対策などの推進を図ります。

これらの地域農業の振興においては、農業協同組合や、各種生産組織の役割は重要であり、これらの農業団体と研究協議をし強化を図っていきます。また、次代を担う後継者の育成に努めます。

### ■林業

森林の持つ水源涵用、山林資源の確保などの公益機能の充実や林家経営の安定のため、新林業改善事業を実施し、近代化協業化を推

# 恵まれた立地 近代化に向けた

## 実 施 計 画

進し、経営基盤の整備、生産基盤の整備、生活環境施設の整備などを行い、林業の振興を図ります。

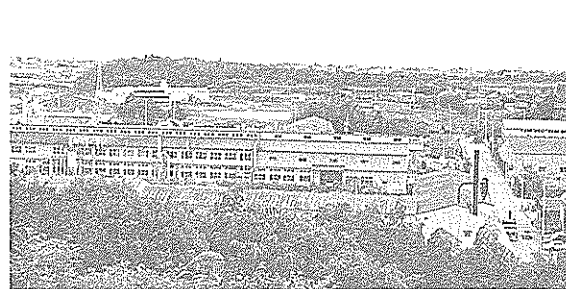
### ■水産業

漁業振興の目標を「取る漁業」から「育てる漁業」への展開と、漁家の経営安定に置き、その実現のために生産基盤の確立、施設の整備、流通対策の充実を図ります。

資源の拡充としては、天然の漁業資源の減少に対応し、その増殖を図るため、種苗放流の取り組みを進め、漁業資源の増養に努めます。流通加工の改善も必要であり、漁家の所得向上の手段として漁獲物の有利な販売を目指すため、共同出荷施設と体制の整備を行うとともに、新たな付加価値を創出するため漁協を中核とした水産加工への取り組みを進め、新販路の開拓等とあわせ、流通改善と有利な販売に努めます。

### ■工業

本市の立地環境、地場資源の活用を基本として、工業団地を建設整備し、工業立地環境の整備を図ります。また、工業の活性化のため、優良企業の誘致を推進します。



比江工業団地

### ■商業

都市機能の充実のためには、商店街を形成する後免町を中心とした市街化区域、十市パークタウン周辺や岡豊地区の市街地整備が急がれるとともに、消費者ニーズの多様化、高度化などに対応した便利で快適な魅力ある商店街を形成

経営近代化の促進としては、中小企業の共同化、協業化、設備の近代化等を推進するとともに、企業経営にのつての産業情報の拡充を図り、品質の向上、新技術の開発等を促進し、経営改善と経営意識の向上を関係機関、業界とともに研究していきます。

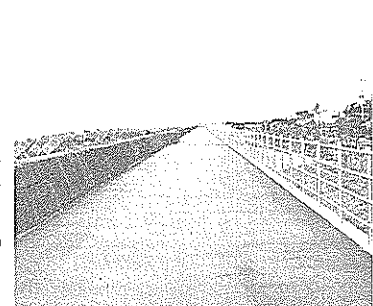
「土佐のまほろば」と言われる本市は、幾多の歴史的、文化的遺産があります。これらに関する諸資料の発掘、収集、整理に努め、観光資源としての活用を図っていきます。とりわけ、岡豊山に建設される県立歴史民俗資料館の早期完成を関係機関に働きかけます。

### ■観光

街路市は、素朴な人々の触れ合いと、楽しいコミュニケーションの場として、消費者ニーズにこたえ市民に親しまれる街路市の振興、育成を図ります。

また、新しい郷土芸能「まほろば囃子」の育成と、風土、特徴を生かした祭りの創出など、将来の観光資源の開発について研究していきます。

豊かな自然も資源であり、本市の基幹産業である第一次産業の振興を考えあわせ、独特な風味を持つヤマモモや温暖な気候に恵まれて盛んである園芸産品の出荷、販売体制に、発想と工夫を加え、観光資源として新しい活路を見出すことも重要です。



自転車道（前浜）

観光ルートとしての、自転車道、遊歩道などをレクリエーションコースとして整備し、市民、観光客に魅力のあるルートの創出を図ります。

実施計画の紹介は三回で終了する予定でしたが、全項目を掲載することができなかったため、次回も行います。